



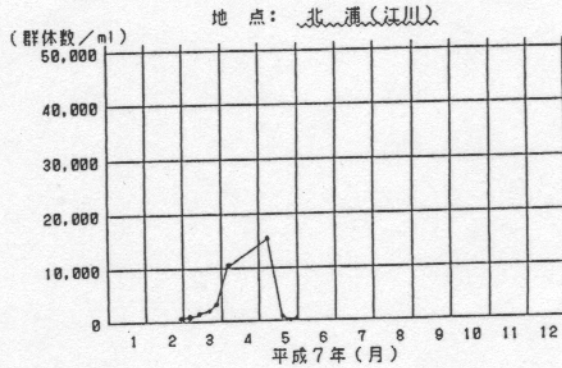
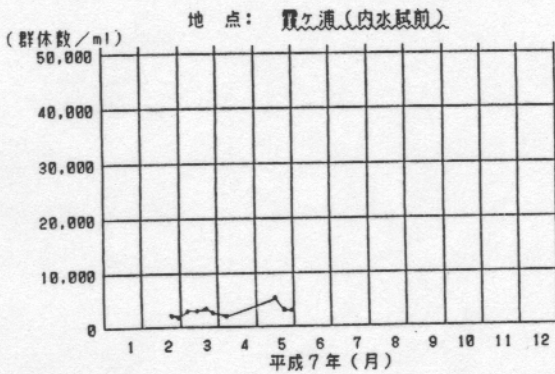
プランクトン情報 — 優占種がフォルミディウムからオシラトリアに

前回のかわら版で紹介しましたが、北浦においては5月中旬から下旬にかけて水変わりが起こり、透明度が3m以上に達しました。今後は、水変わり以前に優占していたフォルミディウムに代わってオシラトリアが出現してくるものと思われま。こうした北浦におけるプランクトンの出現パターンは過去3年とも同じ傾向となっています。今期の霞ヶ浦については北浦のような明確なプランクトンの変化は見られず、4月以降フォルミディウム、オシラトリア、シネドラが共存していましたが、この1週間で珪藻類が急激に減少しています。過去3年間のプランクトン出現のパターンを見ますと、4月と7～8月にフォルミディウムが発生しますがそのほかの時期はオシラトリアか珪藻類が優占しており、今後しばらくの間はフォルミディウムが極端に増殖することはないものと思われま。

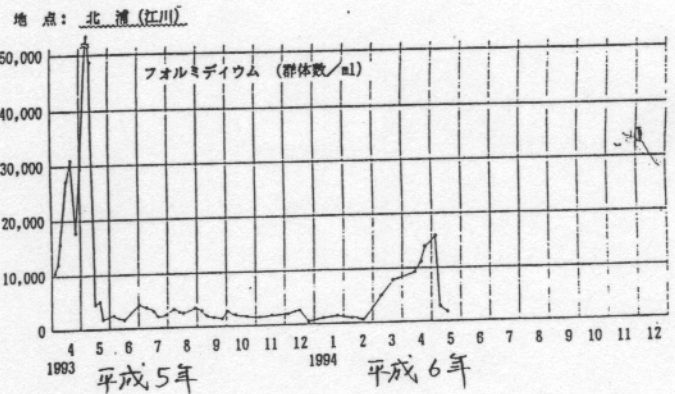
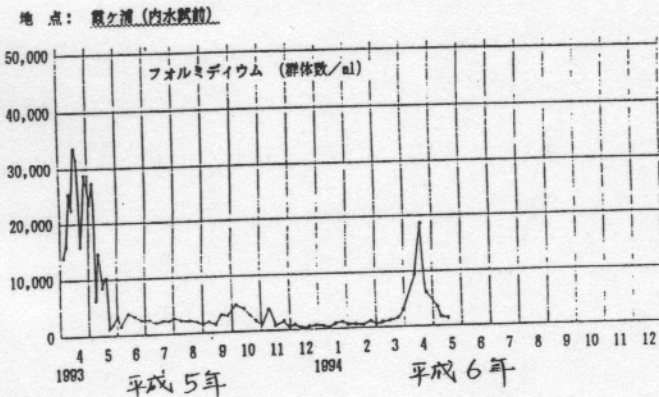
現在の優占プランクトンの種類と量(コ/ml) (平成7年5月29日現在)

地点	プランクトンの種類	藍藻類		珪藻類	水温 (°C)	DO (ppm)	透明度 (m)
		フォルミディウム	オシラトリア	シネドラ			
霞ヶ浦	牛渡	2,130	8,470	3,540	20.0	8.4	0.7
	内水試前	3,130	6,470	1,530	20.8	8.0	0.8
	手賀	2,400	7,200	6,140	19.1	8.7	0.7
北浦	江川	70	130	3,670	19.8	8.4	0.8

フォルミディウム発生量の推移



一昨年及び昨年のフォルミディウム発生状況



イスラエルゴイ稚魚 (300gサイズ) 無料配布のお知らせ。

イスラエルゴイは小骨の少ないコイとして韓国から導入され、従来から養殖されているヤマトゴイと交配することによって優良品種を作出するための親魚として用いられてきましたが、親魚が高齢になり、数が少なくなったため、養殖業者の方から稚魚供給の要望がありました。これを受けて、当内水試では現在、100～300gサイズのイスラエルゴイ稚魚を300kg程度生産保有しておりますので必要な方は内水試に御一報下さい。